



TITLE:

統計書ノ概説

AUTHOR(S):

財部, 静治

---

CITATION:

財部, 静治. 統計書ノ概説. 経済論叢 1916, 3(2): 132-137

ISSUE DATE:

1916-08-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127059>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 經濟論叢

號二第

卷三第

## 論說

國防税ノ本質

でうあつぎ・ひゅーむノ經濟學說(四)

資本ノ眞概念ノ發展(二)

戰後ノ人口増加政策(二)

支那近代ノ戸口ニ就テ(二卷)

在外正貨ト兌換券ト關係ヲ論ズ

## 雜錄

服部氏ノ批評國際經濟論ニ對スル向井氏ノ批評

瀧本誠一氏ノ草稿危險ニ對スル義解題ニ就イテ

福田博士ニ答フ

戰時利得税ノ諸學說及實例

英吉利ノ新税

米國ニ於ケル船舶買收法案ニ就テ

經濟雜誌第五

統計書ノ概説

らぐれー「ミール」學說ノ研究(三)

『通俗經濟文庫』ノ刊行

『經濟大辭書』ノ完成

法學博士 神戸 正雄

法學博士 福田 徳三

法學博士 河上 肇

文藝博士 米田 庄太郎

法學博士 内藤 虎次郎

法學博士 小川 郷太郎

法學博士 河上 肇

法學博士 鈴木 券太郎

法學博士 本庄 榮治郎

法學博士 神戸 正雄

法學博士 河田 嗣郎

法學博士 岸本 熊太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 財部 靜治

商學博士 大塚 金之助

法學博士 福田 徳三

法學博士 神戸 正雄

(載 轉 禁)

## 統計書ノ概説

財部 靜治

一、單位ノ觀察判斷ヨリ材料全部ノ蒐集及便宜表章ニ及フヘキ統計作製ノ方法技術ハ當ニ其本質ニ訴ヘテ議スル場合ノミナラス其範圍ヨリ論スル場合モ極メテ重ンスヘク從ヒテ又諸統計機關ハ其途ニ熟通スルタメナスヘキコト可ナリ多ク現ニ是等ノ機關存在ヲ至當ナラシムヘキ事由ハ恰モ統計作製ノ方法技術其モノニ存スト謂フヘシ。然モ亦此事情ニ促サレ世上ニ特殊ノ乖離起リ易シ詳言スレハ作製ヲ本職トセル統計専門家ハ所謂統計生産者トシテ統計作製ノ方法技術的職分ニ主力ヲ傾注シ其反對ニ統計ノ學問的及實際的利用ニ當ル者乃チ所謂統計消費者ハ統計作製ノ方法及統計ノ根源出所ニ付見聞狹ク其見聞ヲ弘ムルノ用意サヘ缺クコト世ニハ珍シカラサレハ一面ニ於テ材料ノ堆積上節度ヲ解セスト罵リ或ハ又其堆積上不備不足アリトノ愁訴起ルト共ニ他ノ一面ヨリハ統計々數材料ノ利用不充分ナリトノ非難起ルヤ寧ロ自然ノ勢ト謂フ

へシ。而シテ此通弊ヲ救フノ方策ハ種々アルヘク統計作製者トシテモ又之カ利用者トシテモ等シク改良ヲ努ムルノ要アルヘシト雖モ就中此方面ニテ前者側ヨリスル一努力ト認ムヘキハ自己ノ編成ニ係ル統計書ニ文字ヲ以テセル概説ヲ付スルノ風潮ナリ。

二。米國統計學者トシテ一隻眼ヲ具ヘシ故りつちもんど・めーよーすみすハ夙ニ一八八八年ノ論文「統計學及經濟學」中議シテ曰ク英米ニ於テすたちすちつくすト言フ場合普通ニ計數的事實ヲ示セル表ヲ指シすたちすちつくすニ關スル著書ハ是等冗長精密ナル統計表ヲ集メシ曆及著書ニ外ナラス吾人ハ英語中ニ獨語すたちすちつくす佛語ら・すたちすちつくすニ相當スル言葉ヲ全ク有セスト少シク過言ノ嫌アリト雖モカノ官廳統計機關ヲ以テ他ノ諸官廳學者及利害關係者ニ對スル計數材料供給者タルト共ニ其材料ニ學問的研究ヲ施スヘキモノト觀シ是等機關ノ主宰者ハ統計事務ノ處理ト學問指導ノ任務トヲ兼ヌヘク役人タルト共ニ學者タルヘシト觀スルノ風由來

英米ニアリテハ獨佛ニ於ケルカ如ク甚シカラサルヲ道破シ得テ餘リアリ。而シテ是等ノ機關ニヨル學問的研究ノ結果ハ雜誌ノ論文トナリテ現ハルルコトアリト雖モ晩近ニ至リ官廳統計書中其統計ヲ學問的ニ利用シ特ニ其結果ヲ括約シテ收メ得ヘキ綱要ノ記述ヲ輯錄シ啻ニ計數材料調製ニヨリ施政上ニ於ケル現實ノ必要ヲ充タサントスルカ如キ職分ノ狹小ニ甘ンセサルノ風著シ。素ヨリ近年ニ至リ一部ノ學者數理統計開拓ノ意氣ニ驅ラルルノ餘波トシテ異説ヲ唱ヘ計數材料ノ學問的利用ノ範圍ニ於テ主力ヲ制スヘキハ私人ノ任意學問的研究ニアリカカル研究ハ學問研究法ニ關スル學理ノ諸要求ニ適フヘキ計數利用ヲ遂ケ又其利用上官僚的色彩ヲ脱シ嚴密ニ容觀的研究ヲ遂クルノ保障最モ克ク備ハレリト説クモ惟フニ先進國官廳統計ノ主宰者及其學問的補佐者カ一般ニ其統計調査ノ全材料ニ精通シ又研學の思索ニヨリ冷靜克ク客觀的態度ヲ失ハス計數ニ立脚セル叙説ヲ試ムルノ現況ニ通スル者ハ輕々シク其說ニ首肯セサルヘシ。

1) cf. Publications of the American Economic Association. Vol. III. Nos 4 and 5. pp. 114. 115.

三。前述ノ如キ風潮ハ獨逸ニ於テモ古クヨリ存シタリトスルヲ得ス前世紀ノ初葉官廳統計勃興ノ當初ニアリテハ「計數熱」(Furor numeri) 流行シ統計書多クハ數字ヲ過重シ乾燥無味赤裸々タル計數雜纂ヲ發表シ時アリテ簡單ナル序説ヲ付スルコトアルモ申譯的ニ其露骨ヲ被フニ過キサリキ當時ノ人或ハ妄想ヲ懷キ諸計數材料ヲ發表スル限リ私經濟界ハ熱誠ヲ以テ之ヲ迎ヘ種々ノ方面ニ之ヲ利用スヘシト考ヘタルハ其主因タリシナラン。然ルニ時ヲ經ルニ從ヒ計數ノミヲ授クル統計書ハ死兒ニ外ナラス否活キテ生ルモ生レシ時ハ即チ死スル時ナリ統計書ノ堆積ニヨリ徒ラニ計數墓地ヲ築クノ風アリシヨリ官廳統計家ハ右見解ノ謬妄ヲ悟リ茲ニ初メテ調査ヲ主宰シ製表セル統計家ハ寧ロ其義務トシテ先ツ其計數ヲ學問的ニ利用シ又之カ評論ヲ遂クヘクコハ文字ニヨル叙説ヲ借リテ初メテ達シ得ヘシトノ見解ハ起レリ實ニ統計作製者自身其發表ニカカル計數海ニ漕ギ入リテ探險スルナカランカ此海洋ノ暗礁淺瀬ニ通セサル俗人ハ初メヨリ之ヲ眺

メテ戰慄シ示サレタル計數系列ニ何等ノ注目ヲ拂ハサルモ怪シムニ足ラサルナリ。  
四。上述ノ如ク多クノ統計消費者ヨリセンカ原表又ハ根源統計書詳言スレハ調査材料ノ仔細別ヲモ詳密ニ示セル統計書ノ無味ナル計數ハ何等略説ノ手引ナシニ之ヲ讀破シ利用セントスルカ如キハ望ミ得ヘキニ非ス而モ亦利用サレサル統計ハ其職分ヲ盡サスト言フヘク又材料蒐集整理ノ大仕事及印刷費ハ之カタメニ甚シキ浪費ニ歸スヘシカクテ聲ナキ計數ヲシテ「其口ヲ開カシム」ルノ要アリトノ信念ハ益々懷カルルニ至リ其計數報告書ニ記述報文又ハ概説ヲ付スルコトトナレリ。而モ亦單純ニ各表ヨリ最大最小ヲ無意味ニ抄録シ繰返スニアラテ調査ノ結果ニ關スル大綱ヲ記述シ其内部關係ヲ説示スルコトトナスハ素ヨリナリ而シテ其仕事ハ取扱ハレタル材料ノ特別事情通ニ委ヌヘシカカル統計處理者ニシテ思索ノ才アランカ普通ニ其統計ノ整理研究ニ當レル間ニ適宜ニ問題ノ研究解決ヲ助クヘキ知識及推測ニ着想スヘケレハナリ加之記述報文

中ニハ計數材料ノ纂要換言スレハ蒐集セル材料ノ解析の調理トシテ一步ヲ進メタルモノヲ含ミ之ヲ小表乃チ所謂記事内挿入表 the Textabellenヲ以テ示スコト寧ロ多キハ至當ナリ此種ノ表ハ計表部ノ研究ヲ目的トシ又其全編ニ通曉セントスル少數者ノタメニハ案内トナリ概説ノ一讀ヲ以テ満足セントスル多數者ノタメニハ全計表ノ大要ヲ抄録再說セルモノトシテ利用サルヘシ最後ニ又記述報文ニ就キ文體ノ優雅文飾ヲ競フヘキニ非ルト共ニ必然的ニ之ヲ忌ムヘシトスルノ要ナシ寧ロ此作用アラシムルハ可ナリ從前ニアリテハ圖表ノ便覽ヲ以テ計數詳示ノ目的ニ背馳スト觀シタルト同一ノ見解ニ基ツキ痛快ナル記述報文ヲ以テ統計上ノ一不義不貞節トシ然ラサルモ亦計數ノ眞面目質實ト調和セストナシタルトモ今ハカ、ルコトナシ。

五。記述報文ニ示スヘキ材料ノ範圍ハ種々ナルヲ得ヘシ特別事情ノ調査ヲ目的トスル特別調査ナランニハ自ラ當該問題ニ關スル詳說ヲ付スルノ要アルヘキモ定期ニ繰返サル統計ニシテ之

ニ對スル特別急需ナシトセンカ自ラ其記述ヲ簡略シ計表ノ公刊ト共ニ單ニ從前ニ於ケル同種調査ヲ指示シ當該統計ヲ生メル方法上ノ諸改正ヲ説明スルコトナルヘク或ハ又統計ノ至要結果ト以前ノ結果トヲ對照シテ得タル略說ヲ付スルコトトナルヘシ是等略說ハ次イテ抄録的ニ日刊新聞ニ轉載セラレ又雜誌中ニ傳ハラレカク統計ノ一部ハ統計表ノ仕事場ニ發シテ公衆ノ間ニ周布セラレ統計普及ノ目的ヲ大ニ資クヘシ唯其一部ノ結果ハ必スシモ最モ興味多キモノタラサルコトアルハ謂フ迄モナシ。

六。本邦統計局ノ定期刊公書ハ由來右ノ風潮ヲ迎フルニ至ラスカノ東京市統計年表等ニ於テ夙ニ總說 Introduction (同年表ノ諸計表ニハ英文英數字ヲ付スルモ此總說ハ邦文ニ限レリ廣ク利用セシメントセハ同シク英文ヲ付スルヲ可トセン)ヲ付シ此點ニ付統計局ニ先ンシタリシカ近刊大正二年末日本帝國人口靜態統計ハ先輩高野博士カ夙ニ近刊國家學會雜誌ニ號ニ亘リ豫想又評說サレシカ如ク大體ニ從來ノ體裁ヲ襲フト共ニ別冊描畫圖ヲ新刊シ又別冊

「大正二年末人口靜態調査ノ結果ニ據ル帝國人口概説」刊行ノ新例ヲ開キタリ右圖表及概説ノ内容ニツキテハ別ニ評論ノ機會ヲ求メント欲スルモ茲ニハ右ノ新例其モノニ付世人ノ注意ヲ喚起セント欲スル者ナリ夫レ花房前局長時代ニ於ケル統計局ハ夙ニ帝國人口ノ靜態動態ニ關スル原表ノ刊行ヲ斷行シ之ト共ニ材料ノ蒐集整理ニ關スル方法ヲ整理シ統計ノ確實ヲ期スルニ銳意シ又其方法ニ關スル説明ヲ原表中ニ附載シテ計數材料批判ノ參考材料ニ供シ又諸官衙統計ノ至要結果ヲ抄錄輯録スヘキ統計年鑑ノ編纂ニツキテモ同趣旨ノ下歷年改良ヲ加ヘ現ニ最近ノ刊行ニアリテハ諸計表ノ整頓ヲ計レルト共ニ從前ノ如ク緒言、凡例、目錄ヲ付セル以外ニ目錄概覽、計數出所目錄ヲ付シテ之カ利用者ノ便利ヲ謀レリ現ニ又大正二年末ノ靜態統計ニ關シテハ右統計書ノ刊公ニ先テ大正三年十二月以來調査ノ結果ヲ分割公刊シ其統計ニ興味ヲ惹クヘキ者ヲシテ速カニ其材料ニ通曉セシムヘキ速報逐次刊行ノ新例ヲ開キシカ(社會ノ木鐸ヲ以テ任スル者ノ間右

速報ヲ評シ一箇年前ノ材料ヲ示シツツ速報トハコレイカニト冷厲ヒル者アリ統計及統計家ハ兎角冷評ノ標的トナリ易キモ其編纂者ハ惟フニ右冷評者ヲ迎フルニ愛憫ノ念ヲ以テセンカ)今ヤ右統計書大成セラルルニ及ヒ餘力ヲ割イテ克ク右概説ヲ編成シ得タリ之ヲ以テ先進國ノ風潮ヲ襲ヒタルニ過キスト、概ニ評シ去ラハ夫レ迄ナレト其幹部ニ於テ人多シトナシ兼ヌル我統計局ニ於テ「準備ト實行ニ其ノ人ヲ要シ又其ノ經費ヲ要ス」ヘキ本書ヲ編ミ得タルノ餘勞ヤ多トスヘシ特ニ其内容カ一編ノ申譯の概説ニ止マラス其「編述ノ方針及論斷ノ方法」「專裁」上着想見識共ニ汲ムヘキモノ多キハ一覽セル所ニテモ明カナルニ於テオヤ。惟フニ所謂統計開化ニ浴セル外國人ニヨリ本邦統計ニ對シテ加ヘラルル一缺陷一黒倒ハ之カタメニ除カルヘク又貴重ナル本邦人口統計原表モ之カタメニ廣ク國民ノ間ニ入り易キモノタルニ至ルヘキハ右刊行當時諸統計書ノ書名發行者ヲ限リ一束紹介スルニ馴レタル諸新聞紙上ニ右概説ノ抄錄紹介サレタルヲ見テモ推測スルニ足レリ、カカル事業遂行ノタメニ

ハ當ニ金ノミナラス解説ノ頭腦ヲ要スヘキヲ以テ官公一切ノ統計機關ニ對シ之ヲ望ムハ無理ナルヤヲ知ラスト雖モ諸統計機關特ニ大都市統計機關ノ主宰者并ニ其本屬長官各位カ漸次右統計局ノ新例ニ倣ハレンコト切ニ望ムヘシ之カタメニ表中ニ現在セル缺陷又ハ誤謬ヲ指摘スルノ餘得モ伴フコト多キニ於テオヤ。吾人ハ今前記刊公物ノ惠贈ニ接セルニ當リ此短編ヲ草シ本邦統計上多大ノ功績ヲ殘シテ曩ニ其職ヲ退キタル花房前局長ニ對シ本邦統計學界ノ一後學トシテ敬意ノ一端ヲ表セント欲ス。